

第3回運営チーム会議について

議論できたこと

○ 運営チームについて

・ 運営チームの進め方

- ・ チームメンバーによる自主的な運営とする。

・ 運営チームと事務局の役割分担

- ・ 事務局は、会場の手配、傍聴者の手続き、議事録の作成、会議資料の整理等事務的な作業を行う。

・ 会議資料の配布

- ・ 事務局で整理の上、顧問とリーダーで確認し委員へ送付する。

・ 公開講座の予算

- ・ 概ね100万円（講師謝金、旅費、日当）

<事務局>

講座の会場は、県の施設開催。

・ 講座の目的達成のために

- ・ より広く、より多くの県民に知っていただくため、デジタル的な技術を活用して運営する。
- ・ 予算的な制約条件が厳しい中での運営となるので、講座の目的（より広く、より多くの県民に知っていただく）達成のために、予算面で県に努力をお願いしたい。

○ 連続公開講座運営方法

・ 各講座テーマの決定方針

全テーマを決めず、順応的に対応する。

最初の2回は基礎情報提供とする。

1) 流域の基礎情報

2) ダムの基礎情報

- ・ 講座の方式・進め方・構成

情報提供型と討論型をフレキシブルに考えていく。

- ・ 各講座テーマ構成の目安

「流域って何」「ダムって何」「安全・防災」「農業と水」「河川と魚」

「三河湾と魚」「ダムサイトの技術」「水源地振興」「税と投資」「総括」

- ・ 講座の担当者

詳細は担当委員が案を作成する。

担当委員を講座ごとに2名選出

○ 第1回公開講座について

- ・ テーマ：「流域って何（仮）」
- ・ 日時：7月21日（土）もしくは28日（土）
- ・ 場所：東三河
- ・ 担当委員：井上委員、蔵治委員

○ 第2回公開講座について

- ・ テーマ：「ダムって何（仮）」
- ・ 担当委員：鷺見委員、原田委員

○ 公開講座の通称

- ・ とよがわ流域県民セミナー（略称：カワセミ）

○ 次回運営チーム会議

- ・ 日時：6月8日（金）13：30～
- ・ 場所：東三河県庁大会議室

- 広報手段
 - ・ <事務局>
「広報あいち」：主要紙の第1日曜日に掲載
 - ・ 各委員、事務局で次回までに検討する。
- フェイスブック
 - ・ 当面「カワセミ」は運営チーム及び県とは独立した任意の場とする。

議論できなかったこと

- 第1回講座の開催施設
- サイドイベントについて
- 講座の理解度確認方法
- 主会場（150名）が満席の場合の対応方法